

# 令和 2年度予算見積調書

課室名：県土整備政策課

担当名：政策担当

内線：5014

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B102	ドローン活用土木施設調査事業費		一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	管理諸費	
事業期間	令和元年度～	根拠法令	なし		宣言項目			
					分野施策			
1 事業概要			5 事業説明					
<p>ドローンは、ここ数年大きく普及している。土木分野においてもドローンを活用した測量などICT技術導入による生産性向上を図ることを目的としたi-Constructionが進められ、土木施設の点検への活用検討も進められている。また、熊本地震や九州北部豪雨では被害状況の全容把握に活用され、災害現場においても有効なツールとして広く認知されている。</p> <p>このため、県土整備事務所にドローンを導入し、土木施設の状況の速やかな確認や経年変化に伴う変状を把握するとともに、災害時において協定業者の迅速な対応ができない場合の代替手段として活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドローン導入経費 1,531千円</li> </ul>			<p>(1) 事業説明</p> <p>上空からの精度の高い動画及び静止画を取得することで、管理する土木施設の状況の速やかな確認や経年変化に伴う変状把握することが可能となるとともに、空撮映像を保有することにより、将来的に様々な活用への展開を図る。</p> <p>あわせて平常時の活用が進むことで、災害時において協定業者の迅速な対応ができない場合の代替手段として活用も可能となる。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 県土整備事務所等へドローン配備 令和元年度～令和2年度 導入事務所 3事務所</p> <p>イ 管理施設の状況把握、日常点検調査への活用</p> <p>ウ 活用効果と課題の検証、追加すべき機能検討</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平常時からきめ細かな土木施設の状況把握による安心・安全の確保</li> </ul>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1名=9,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	1,531						1,531	△2,056
前年額	3,587						3,587	